

産階級運動の大衆化を困難ならしめ、理意を燃や  
るや教者の運動を動やもすれば深癖と生硬に傾  
かしむるに至ったのである。我々は過去に於ける我国労  
働運動の過程は必然的、我國資本主義の變化的  
發展に應じたるものなることを断言する。けれども  
若し我々が今後猶依然として旧來の態度を持  
續するならば、それこそ大なる誤りであり、過失を犯  
すものである。

何故ならば今や我々は過去に於けるよりも其政策  
をより現實化し積極化する必要に迫られ  
て居る而して其必要は最近に於ける我國資本主  
義の示しつゝある傾向と労働階級の勢力の増大を、

我々が正確に觀察するを得たからである。我國の  
労働組合運動は少数者の運動から転じて大衆的  
運動に向ふべき一階段を到達したのである。改良的政  
策に對する従來の消極的態度は積極的の之を利  
用することにと改められなければならぬ例へばブルヂ  
ョア議會に依つて労働階級の根本的解放を期待す  
る所毫もなきは勿論、それとも普遍實施後に於ける  
選挙権を有効に行使すること、依りて政治上の部  
分的利益を獲得すると共に無産階級の政治的覺醒  
を促し、又国際労働會議に於ても之が対策を慎重に  
考慮し、以て我國労働組合發展の爲めに對するべきである  
我々は階級的利害が一致に依りて受れる労働組合の